

関大レスリング部の誕生するまで

松 井 清

レスリングは古代ギリシャのオリンピック競技の種目であって紀元前 700 年頃から組織だてで行なわれていた。即ち古代オリンピックでは、五種競技が行なわれ、最初の走巾跳で 5 人の選手を残し、槍投、競走、円盤投で 1 人ずつ落して、最後に残った 2 人でレスリングを行ない、栄冠を争ったとも云われている。

わが国で、組織的に行なわれるようになったのは昭和になってからである。

日本での起こり

大正13年、第8回パリ・オリンピック大会に、当時アメリカに留学中であった内藤克俊がフェザー級（フリースタイル・当時61kg級）に出場し、第3位に入賞、日の丸を高々とパリーの空に掲げている。こうした先鞭はあったものの、実際には国内でまだレスリングは行なわれていなかった。

昭和4年、早稲田大学柔道部がアメリカに遠征、各地を転戦し柔道対レスリングの試合を行なった。この時部員として参加した一人に(財)日本アマチュアレスリング協会の現会長 八田一朗氏がいる。試合で日本の軽量級が好成績を収めたことやアメリカのレスラーの体力に驚愕したことに動因されてレスリングの研究がなされるようになった。

昭和6年4月27日、早稲田大学レスリング・クラブが柔道部道場において発会式をあげ創設された。

昭和7年4月6日、日本アマチュアレスリング協会が設立され、第10回ロスアンゼルス・オリンピック大会に参加できるようになったが、いまだに日本のレスリングは柔道の延長といった程度のものであった。

参考までに参加選手は次の通りである。監督は今村次吉、マネージャーは佐藤信一、選手はフェザー級八田一朗（早大OB）、ライト級宮崎米一（早大OB）と加瀬清（立大）、ウェルター級河野芳男（明大）、ミドル級小谷澄之と吉田四一、それに主将の鈴木英太郎である。

昭和9年9月、ハワイ・レスリングチームを招き、対抗試合が東京及び大阪で、我国で初めての国際試合が行なわれた。9月23日大阪朝日会館で行なわれた大阪大会の収益金は、当時大阪地方をおそった室戸台風が大阪湾を直撃し、大阪市内が水びたしとなり被害甚大を被むった時、その水害義援金として贈られた。

関大関係者がレスリングを……

昭和10年1月27日、当時大阪YMCAの体育主事であった松葉徳三郎（関大OB）の提唱により、広井忠雄、和歌山中学に奉職中の早大OBの宮崎米一等によって大阪YMCAにおいて、大日本アマチュアレスリング協会関西支部が設立された。当時の役員と部員は次の通りである。常務理事・広井忠雄（早大OB）、松葉徳三郎（関大OB）、理事・宮崎米一（早大OB）、新田新一（早大OB）、野瀬隆進、評議員・射延治郎（同大OB）、佐藤信一（東京高師OB）、三宅二郎（関大OB）、部員・松本六理、津森一夫、松田博之、吉野耕造、琴川悟、生田禾苗、渋谷喜章、松井清（以上関大）、森

本義雄、長田瑞輔、井上勇、藤田義治（以上関西支部）。

事務局を大阪YMCA体育部内に置き、連夜宮崎理事長をコーチにYMCAのレスリング道場において練習に励んだものである。

当時は現在のように技も多彩でなく、殆んどが柔道選手の転向部員であり、主にタックルと、投技が多用され、何が何でも相手の背後に回りポイントかせぎに務めたものである。グランド・レスリングになれば、ハーフェルソンがよくつかわれ、試合は20分間休憩なしの連続試合であった。これを思えば現在の3分3Rのラウンド間の休憩1分という3ラウンド制とは比べものにならない。が、試合における選手のスピードは今ほど展開の多いものではなかった。この試合時間は、戦後15分の試合、12分試合、そして5分2Rの試合とルール変遷を経て現行の3分3R制になった。

昭和10年4月14日、先づ事業として、東西対抗を大阪YMCAに於いて行なう。

	関東5	—	2	関西
バンタム級	清水◎	フォール		佐藤
//	渡辺	フォール	◎	松田(兄)
フェザー級	西出◎	フォール		松田(弟)
//	秋田◎	フォール		島田
ライト級	菊間	フォール	◎	松本
//	水田○	判定		津森
ウェルター級	平松◎	負傷キケン		須天

そのころ東京では早稲田大学に続き慶応義塾大学、明治大学、少し遅れて専修大学にレスリング部がそれぞれ設立された。

昭和11年、第11回ベルリンオリンピック大会には、次の役員、選手が参加した。役員・山本千春、八田一朗、主将バンダム級丹波幸次郎（早大OB）、フェザー級水谷光三（明大）、吉岡秀市（早大）、ライト級風間栄一（早大）、ウェルター級増富省一（早大）。そして成績は、風間栄一が5位に、水谷光三が6位に入賞している。

昭和11年4月15日午後1時より、甲子園庭球コートに於てオリンピック代表選手と関西支部の送別試合が行なわれた。

	五輪チーム	8	—	0	関西支部
バンタム級	住吉◎	フォール			井上（関西支部）
//	丹波◎	フォール			琴川（関大）
フェザー級	水谷◎	フォール			津森（関大）
//	吉岡◎	負傷キケン			松田（関大）
//	西出◎	フォール			吉野（関大）
ライト級	風間◎	フォール			藤谷（関西支部）
//	矢田◎	フォール			松本（関大）
ウェルター級	増富◎	フォール			松井（関大）

第2次世界大戦が勃発し、終戦を迎える迄はレスリングは他の外来スポーツと共に禁止されるようになり一時中断されたが、終戦後まもなく個人的に愛好者が練習を始めるようになった。また、文部

次官の通達によって戦時中とは逆に柔道、剣道が禁止されるようになって、それに代って各大学の柔道道場がいち早く、レスリング道場に変貌したが、これが立ち上がりのきっかけを造ったようである。我関西大学レスリング部もこの頃に愛好者が集まることになる。

昭和23年現在の関西大学レスリングOB会会長 山本雅之が関西大学体育会委員の時に、関西大学レスリング同好会を部に昇格するために当時の同好会の会員と共に尽力し、関西大学レスリング部が体育会所属の部として歩み出すことになった。以来、本年30周年を迎えることになったのである。

関西大学レスリング部OB会名誉会長

関西大学レスリング部元監督

全日本学生レスリング連盟会長

(財)日本アマチュアレスリング協会副会長

大阪府アマチュアレスリング協会会長

西日本学生レスリング連盟名誉会長